

厚生労働省北海道労働局発表
平成29年3月16日

【担当】

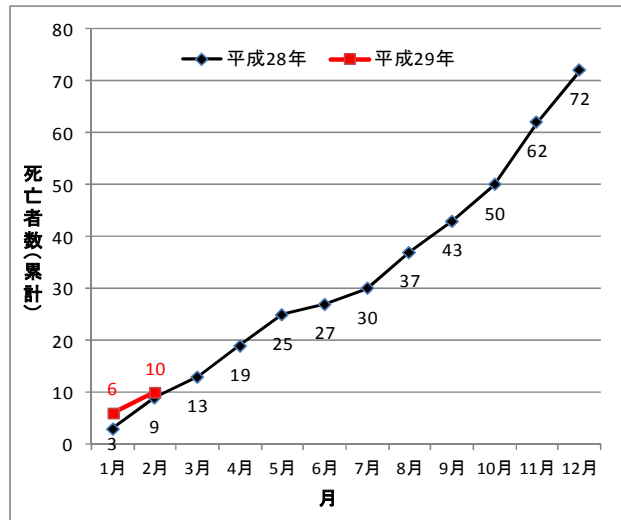
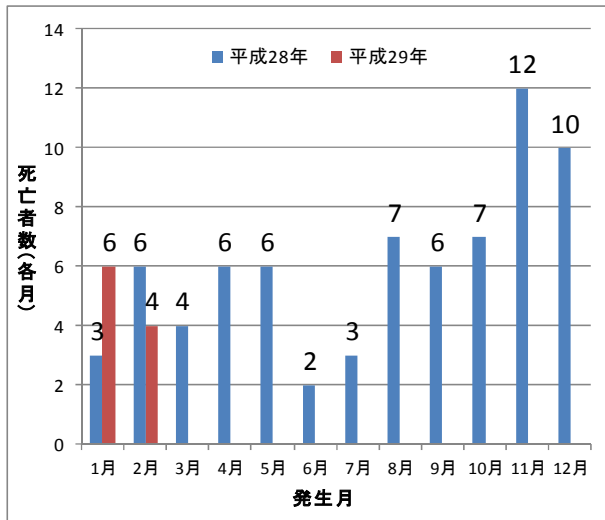
北海道労働局労働基準部安全課
課長 工藤 英司
安全専門官 渡邊 哲也
電話：011-709-2311（内3557）
FAX：011-756-0056

死亡労働災害は前年同期比1人増加
死傷労働災害は前年同期比1.9%増加

— 平成29年の北海道内の労働災害発生状況（平成29年2月末現在速報値） —

1 労働災害による死亡者数（1月～2月）

平成29年の道内の労働災害による死亡者数は、平成29年2月末現在速報値で10人と、前年と比べ1人の増加となっています。



(1) 業種別の状況【資料1、2】

業種別に見ると、「製造業」が4人（全体の40.0%、前年同期比3人増）、「建設業」が2人（全体の20.0%、前年同期比3人減）、「陸上貨物運送事業」及び「警備業」が1人（全体の10.0%、それぞれ前年同期比同数）、「小売業」及び「その他」が1人（全体の10.0%、それぞれ前年同期比1人増）となっています。

(2) 事故の型別の状況【資料3】

災害を事故の型別で見ると、「はさまれ・巻き込まれ」が4人（全体の40.0%）、「墜落・転落」、「崩壊・倒壊」、「激突され」、「おぼれ」、「有害物等との接触」及び「交通事故（道路）」がそれぞれ1人（それぞれ全体の10.0%）となっています。

2 労働災害による死傷者数（1月～2月）

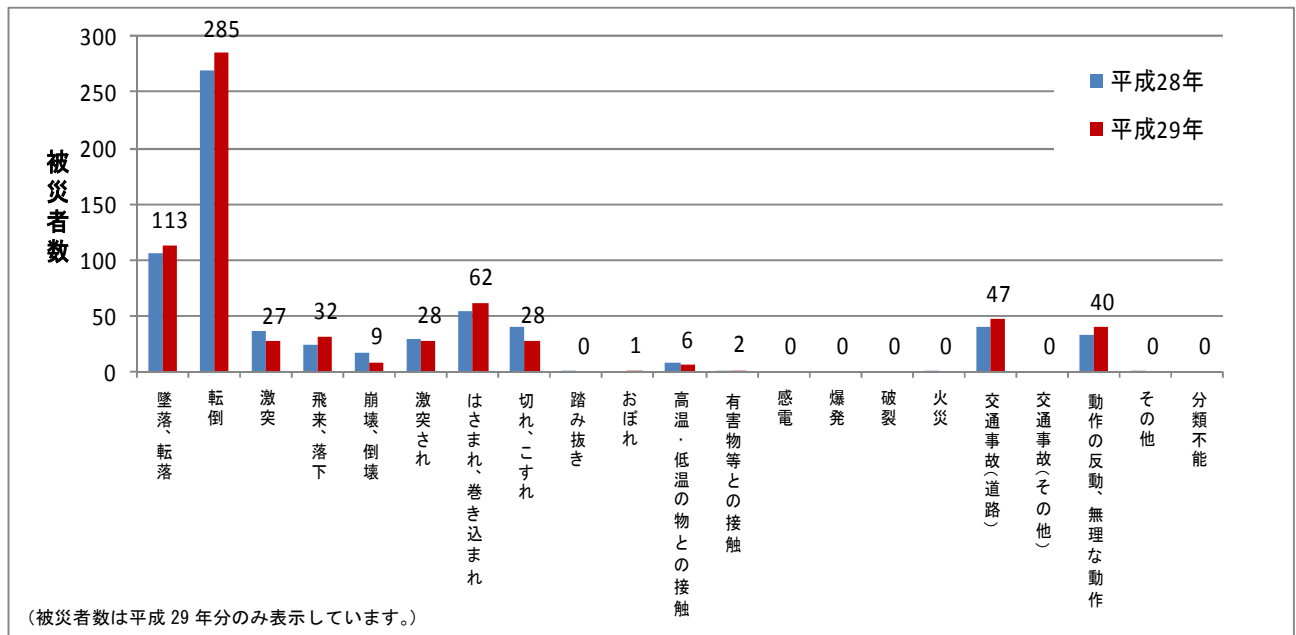
平成29年の道内の労働災害による休業4日以上死傷者数は、平成29年2月末現在速報値で680人と、前年同期比13人増（1.9%増）となっています。

（1）業種別の状況【資料4】

業種別に見ると、「製造業」が120人（全体の17.6%、前年同期比6人減）と最も多く、次いで「陸上貨物運送事業」（道路貨物運送業及び陸上貨物取扱業）が106人（全体の15.6%、前年同期比27人増）、「商業」が105人（全体の15.4%、前年同期比1人減）、「建設業」が78人（全体の11.5%、前年同期比6人減）の順となっています。

（2）事故の型別の状況【資料5】

災害を事故の型別で見ると、「転倒」が285人（全体の41.9%）と最も多く、次いで「墜落、転落」が113人（全体の16.6%）、「はさまれ、巻き込まれ」が62人（全体の9.1%）、「交通事故（道路）」が47人（全体の6.9%）、「動作の反動、無理な動作」が40人（全体の5.9%）、「飛来、落下」が32人（全体の4.7%）、「激突され」及び「切れ、こすれ」が28人（それぞれ全体の4.1%）、「激突」が27人（全体の4.0%）の順となっています。



3 北海道労働局の対応

（1）平成28年の死亡労働災害は72人と対前年比7人増となりました。平成29年の死亡労働災害も2月末現在までに把握したもので10人と、対前年比1人増となっております。その他に、3月に入ってから2月末に発生した死亡労働災害を把握した、屋根の雪下ろし中によるもの（1人）とスリップによる交通事故（2人）が発生しています。

（2）上記の結果を受け、北海道労働局では、労働災害防止団体、建設関係団体、農業団体、商工関係団体等に対して、融雪期における事業場への安全な作業の徹底について、周知・協力を緊急要請しています。

【添付資料】

- 1 平成29年における死亡災害発生状況[速報]
- 2 平成29年における死亡災害発生状況（その他の事業の内訳）[速報]
- 3 平成29年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況
- 4 業種別労働災害発生状況[速報]
- 5 平成29年 業種別・事故の型別・起因物別死傷災害発生状況
- 6 署別・業種別災害発生状況
- 7 死亡労働災害の概要（前月把握分）